

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 15 きれいな水とふれあえるようにする
 【施策】 1 川のごみを少なくする
 【基本事務事業】 1501 汚水を直接流さない

【節】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興
 【項】 都市環境の整備
 【基本計画区分】 501【担当課】 5036000 下水道整備課

【目的】 汚濁負荷量を、坂川水系については210.7kg/日(H13)を210kg/日(H19)に、国分川水系については800.4kg/日(H13)を635kg/日(H19)に削減する。

【背景】 地球温暖化に代表される環境問題は今後の大きなテーマであり、環境に対する負荷の軽減が望まれている。特に本市における河川の延長は53.8kmあり、河川密度(1km²当たりの河川延長)は0.88kmと県内では最も大きな数値となっており、それだけ川が生活に密着しているといえる。

【今後の課題】 汚水を河川に流さないための手段として最も有効なものは下水道の整備であるが、下水道事業は整備に莫大な費用がかかり、現在の厳しい財政状況から進捗が鈍化しているのが実情である。そのため投資効果の高い区域を優先的に整備する等の計画の立案や調整区域等における下水道に代わる手段等の検討も必要である。

【重要性】 河川は治水・利水機能だけでなく多様な自然環境や水辺空間を活かした潤いのある生活と、地域の文化を育む場としての役割が求められている。

【現状分析】 引き続き下水道の整備率を向上させる。

コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持				
150101	水質改善推進事業	生活排水率は平成15年度78.21%、平成16年度79.57%、平成17年度81.57%、平成18年度83.21%、平成19年度84.62%と確実に向上がみられ、河川の汚濁原因が減少する傾向が窺える。				
150102	排水規制指導事業					
150103	下水道事業特別会計繰出金					
150104	公共用水域・地下水等保全事業					
150105	公共下水道管理事業					
150106	流域下水道維持管理負担金					
150107	公共下水道整備事業					
150109	流域下水道建設負担金					
150110	下水道償還元金					
150111	下水道償還利子					
150112	予備費					
【指標】	上段:予算目標 下段:実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
	生活排水処理率	75.02	75.95	76.89	77.82	78.75
	(%)	78.21	79.57	81.57	83.21	84.62
		0	0	0	0	0
	()	0	0	0	0	0

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	15	きれいな水とふれあえるようにする	【施策】	1	川のごみを少なくする								
【基本事務事業】	1501	汚水を直接流さない	担当課:	5034100									
【事務事業】	150101	水質改善推進事業	河川清流課・清流ルネッサン	会計区分	一般会計								
				計画区分	計画事業								
					402								
				戦略区分	成長								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
市民の水環境意識の向上と、健全な水質の確保を行う。	汚れの原因認知度(%)	市民アンケート(川の汚れと家庭排水の関係について理解している割合)	96	97	98	99	100	計画額	38,172	33,782	34,560	32,865	13,839
			95	94	91	93	92	(一般財源)	20,509	17,022	16,897	16,897	2,070
	浄化安定度(%)	浄化施設が適正に機能した割合(稼働時間/計画稼働時間)	70	100	100	100	100	予算額	38,172	33,782	32,092	31,370	27,429
			70	90	93	93	93	(一般財源)	20,509	17,022	15,332	16,195	15,660
【対象】 市民(通勤・通学者を含む)	()		0	0	0	0	0	決算額	36,222	31,353	26,555	25,434	23,772
			0	0	0	0	0	職員数	2.5	2.5	2.5	2.5	1.5
								【業務】	浄化施設整備業務				
									浄化施設維持管理業務				
									川をきれいにする啓発業務				
								【指標値】	上段: 予算目標	下段: 実績			
								【定量分析】: 課題・現状分析					
									市民の理解促進のための啓発活動河川愛護団体の育成・支援関係機関との連携・協力浄化施設の適正な維持管理				
									【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性				
									引き続き啓発活動を実施し、川の汚れの原因を認知してもらい河川愛護団体の育成・支援を行う				
									水質データ及び下水道整備状況を考慮し、施設稼働を検討する。				

【計画事業】

【計画事業名】 川をきれいにする啓発事業

【節項コード】 402 【節名】 安全で快適な生活環境の実現

【項名】 人と自然が共生するまちづくり

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	河川愛護啓発事業河川清掃支援事業	河川愛護啓発事業河川清掃支援事業	河川愛護啓発事業河川清掃支援事業	河川愛護啓発事業河川清掃支援事業	河川愛護啓発事業河川清掃支援事業
実績	浄化施設維持管理 浚渫・操作管理 他河川愛護啓発事業河川清掃支援事業	浄化施設維持管理 浚渫・操作管理 他河川愛護啓発事業河川清掃支援事業	浄化施設維持管理 浚渫・操作管理 他河川愛護啓発事業河川清掃支援事業	浄化施設維持管理 浚渫・操作管理 他河川愛護啓発事業河川清掃支援事業	浄化施設維持管理 浚渫・操作管理 他河川愛護啓発事業河川清掃支援事業

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	15	きれいな水とふれあえるようにする	【施策】	1	川のごみを少なくする
【基本事務事業】	1501	汚水を直接流さない	担当課:	5034100	
【事務事業】	150102	排水規制指導事業	河川清流課・清流ルネッサン	会計区分	一般会計
				計画区分	計画事業
					402
				戦略区分	—

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
市民の水環境への理解を促進し家庭からの水質悪化を低減させる。	家庭排水対策実施率(%)	市民アンケート(家庭での排水対策3種類のの実施割合)	80	81	82	83	84	計画額	2,830	2,542	2,630	2,630	3,644
			80	78	80	78	81	(一般財源)	2,830	2,542	2,630	2,630	3,644
	()		0	0	0	0	0	予算額	2,830	2,542	2,523	3,625	3,632
			0	0	0	0	0	(一般財源)	2,830	2,542	2,523	3,625	3,632
	()		0	0	0	0	0	決算額	2,304	2,021	2,340	3,362	3,074
							職員数	1.8	1.8	1.8	1.1	1.1	
							単位) 事業費: 千円 職員数: 人						
【対象】								【業務】	家庭内浄化対策業務				
市民(市内居住者)													

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

家庭でできる浄化対策の啓発推進活動手賀沼水環境保全協議会の活動手賀沼のCOD改善年平均値 8.2mg/?(H17年) ⇒7.9mg/?(平成18年)

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

引き続き、関係自治体と連携し事業を推進する。きれいな水とふれあえるようにするため、家庭排水対策実施率を高める。下水道未整備地域を重点的に啓発活動を実施する。

【計画事業】

【計画事業名】 川をきれいにする啓発

【節項コード】 402 【節名】 安全で快適な生活環境の実現

【項名】 人と自然が共生するまちづくり

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	生活排水対策事業	生活排水対策事業	生活排水対策事業	生活排水対策事業	生活排水対策事業
実績	生活排水対策事業手賀沼浄化事業負担金	生活排水対策事業手賀沼浄化事業負担金	生活排水対策事業手賀沼浄化事業負担金	生活排水対策事業手賀沼浄化事業負担金	生活排水対策事業手賀沼浄化事業負担金

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 15 きれいな水とふれあえるようにする
 【基本事務事業】 1501 汚水を直接流さない
 【事務事業】 150103 下水道事業特別会計繰出金

【施策】 1 川のごみを少なくする
 担当課: 5011000
 都市整備本部企画管理室 会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 502 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
一般会計から下水道事業特別会計に対し繰出しを実施することにより、下水道事業会計の負担を軽減し、健全経営の維持を目的とする。	()		0	0	0	0	0	計画額	5,300,000	5,240,000	5,350,000	5,000,000	4,500,000
			0	0	0	0	0	0	(一般財源)	5,300,000	5,240,000	5,350,000	5,000,000
	()		0	0	0	0	0	予算額	5,300,000	5,240,000	5,240,000	4,920,000	4,500,000
			0	0	0	0	0	0	(一般財源)	5,300,000	5,240,000	5,240,000	4,920,000
	()		0	0	0	0	0	決算額	4,910,165	4,763,235	4,953,097	4,753,856	4,369,204
			0	0	0	0	0	0	職員数	0	0	0	0
()		0	0	0	0	0	【業務】						
		0	0	0	0	0	0						

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

下水道事業特別会計へ一般会計から繰出しを実施し、その繰出金が下水道幹線等建設整備、公債費償還及び償還利子等に充当されたことにより、下水道事業特別会計の負担軽減に寄与した。『評価対象外』

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

下水道事業特別会計への一般会計からの繰出額は減る傾向にあるが、平成19年度における下水道整備率は79.5%であり、今後も下水道建設整備が必要なため、効率かつ効果的な整備計画を基に、繰出しを継続していく。『評価対象外』

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	15	きれいな水とふれあえるようにする	【施策】	1	川のごみを少なくする								
【基本事務事業】	1501	汚水を直接流さない	担当課:	3942000									
【事務事業】	150104	公共用水域・地下水等保全事業	環境保全課										
			会計区分	一般会計	計画区分								
					計画事業								
					402								
					戦略区分								
					—								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
公共用水域及び地下水を保全するために、法に基づき規制、指導、監視等を行う。	水質改善指導件数(件数)	水質汚濁防止法に基づき違反事業場に対して行った指導件数	32	25	25	25	25	計画額	85,834	82,201	69,770	69,170	67,501
			33	18	23	30	39	(一般財源)	44,732	43,162	37,119	40,180	40,391
	地下水汚染地区の数(地区)	市内で確認されている地下水汚染地区の数	10	10	10	10	10	予算額	85,834	82,201	70,898	69,108	66,229
			10	10	10	6	7	(一般財源)	44,732	43,162	41,908	41,998	39,119
【対象】 水質汚濁防止法の特定事業場等、下水道未普及市民	生活環境項目(BOD)の環境基準適合率(%)	環境基準に適合した検体数/測定検体数*100	88	94	94	94	94	決算額	81,008	45,198	59,500	49,309	41,260
			88	99	92	100	92	職員数	7.57	6.19	6.17	4.53	4.8
								【業務】	公共用水域水質保全業務 公共用水域水質調査業務 情報提供業務 生活排水対策浄化槽推進業務 地下水汚染等防止業務				
								【指標値】	上段: 予算目標 下段: 実績				
								【定量分析】: 課題・現状分析	【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性				
								水質汚濁防止法に基づく違反事業場に対する指導及び合併処理浄化槽の設置促進等により河川の浄化促進。土壌汚染対策法等の規制により地下水汚染地区の減少。					
								今後も、事業場には、法規制の指導強化。一般家庭等には、高度処理型合併処理浄化槽の設置促進及び単独浄化槽やくみ取便所から合併処理浄化槽への転換促進を行う予定です。					

【計画事業】

【計画事業名】 合併処理浄化槽設置促進事業

【節項コード】 402 【節名】 安全で快適な生活環境の実現

【項名】 人と自然が共生するまちづくり

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	合併浄化槽設置基数 150基	合併浄化槽設置基数 150基	合併浄化槽設置基数 150基	合併浄化槽設置基数 150基	合併浄化槽設置基数 150基
実績	合併浄化槽設置基数 146基	合併浄化槽設置基数 84基	合併浄化槽設置基数 135基	合併浄化槽設置基数 101基	合併浄化槽設置基数 82基

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 15 きれいな水とふれあえるようにする
 【基本事務事業】 1501 汚水を直接流さない
 【事務事業】 150105 公共下水道管理事業

【施策】 1 川のごみを少なくする
 担当課: 5037000
 下水道維持課

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
公共下水道が整備されたことにより、川の水質を保全するため水洗化を促進し、水洗化率の向上を図るとともに、下水道使用者が快適に利用できるような適性な維持管理に努める。	下水道使用料収納率(%)	収納額÷調定額	91.72	91.92	92.12	92.32	92.52	【事業費】	1,268,758	861,378	911,276	1,141,756	1,184,978
			91.72	91.85	92.25	92.5	92.6	計画額	0	0	0	0	0
	水洗化率(%)	水洗化人口÷処理区域内人口	92.08	92.08	92.08	92.08	92.08	(一般財源)	0	0	902,314	927,095	924,188
			92.08	92.32	92.93	93.31	93.46	予算額	935,343	894,670	1,045,570	1,041,051	1,077,220
	()		0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	35	29	23.95
			0	0	0	0	0	決算額	921,949	1,142,545	1,039,195	1,056,464	1,018,382
【対象】 供用開始区域内における新築、改造義務者及び利用者			【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績					職員数	37.9	34.9	35	29	23.95
			【定量分析】: 課題・現状分析 公共下水道を整備することにより、地域衛生・生活環境等の向上及び江戸川・坂川等の水質汚濁防止に寄与した。		【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性 水洗化の促進及び使用料未納対策は概ね一定の評価ができた。今後は更に現状維持を図るべく強化を継続する。					単位) 事業費: 千円 職員数: 人	【業務】 下水道使用料徴収業務 既設管等整備業務 水洗普及促進業務 下水道管理関係業務 常盤平衛生処理場維持管理業務 小山ポンプ場維持管理業務 新松戸クリーンセンター維持管理業務 幸谷ポンプ場等維持管理業務		

【計画事業】

【計画事業名】 公共下水道推進事業(汚水)

【節項コード】 502 【節名】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

【項名】 都市基盤の整備

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	下水道使用料徴収業務水洗普及促進業務 下水道各施設維持管理業務 既設管等整備業務	下水道使用料徴収業務水洗普及促進業務 下水道各施設維持管理業務 既設管等整備業務	下水道使用料徴収業務水洗普及促進業務 下水道各施設維持管理業務 既設管等整備業務	下水道使用料徴収業務水洗普及促進業務 下水道各施設維持管理業務 既設管等整備業務	下水道使用料徴収業務水洗普及促進業務 下水道各施設維持管理業務 既設管等整備業務
実績	下水道使用料徴収業務水洗普及促進業務 下水道各施設維持管理業務 既設管等整備業務	下水道使用料徴収業務水洗普及促進業務 下水道各施設維持管理業務 既設管等整備業務	下水道使用料徴収業務水洗普及促進業務 下水道各施設維持管理業務 既設管等整備業務	下水道使用料徴収業務水洗普及促進業務 下水道各施設維持管理業務 既設管等整備業務	下水道使用料徴収業務水洗普及促進業務 下水道各施設維持管理業務 既設管等整備業務

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 15 きれいな水とふれあえるようにする
 【基本事務事業】 1501 汚水を直接流さない
 【事務事業】 150106 流域下水道維持管理負担金

【施策】 1 川のごみを少なくする
 担当課: 5037000
 下水道維持課

【目的】	【指標】	【指標概要】	会計区分 下水道事					計画区分 一般事業 502 戦略区分 -						
			[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]		
適正な維持管理負担金の算定及び支出	不明水率(江戸川)(%)	(処理水量-有収水量)÷処理水量	16.43	16.43	16.43	16.43	16.43	【事業費】 計画額	1,932,513	1,902,142	2,031,213	2,102,599	2,159,690	
			16.43	13.07	16.36	15.58	15.44	(一般財源)	0	0	0	0	0	
	不明水率(手賀沼)(%)	(処理水量-有収水量)÷処理水量	23.66	23.66	23.66	23.66	23.66	【事業費】 予算額	1,933,034	1,902,142	2,130,466	2,205,853	2,135,495	
			23.66	18.98	20.71	25.39	21.74	(一般財源)	0	0	2,130,466	2,205,853	2,135,495	
	()		0	0	0	0	0	【事業費】 決算額	1,646,174	1,886,699	1,891,001	2,147,438	1,647,735	
			0	0	0	0	0	職員数	0.2	0.2	0.2	0.2	0.55	
	【対象】 市民			0	0	0	0	0	【業務】	江戸川左岸流域下水道維持管理負担金 手賀沼流域下水道維持管理負担金				
				0	0	0	0	0	単位) 事業費:千円 職員数:人					

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

誤接改善指導により、誤接家屋253軒のうち203軒の改善が見られた。改善率80%

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

負担金の算定は適正に行われた。また、不明水対策(誤接改善指導)により、ある程度の改善は見られた。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】 15 きれいな水とふれあえるようにする
 【基本事務事業】 1501 汚水を直接流さない
 【事務事業】 150107 公共下水道整備事業

【施策】 1 川のごみを少なくする
 担当課: 5036000
 下水道整備課

		会計区分					計画区分					502 戦略区分	
		下水道事	計画事業										
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
川の水質を保全するため下水道未整備地区を効果的に整備し資本整備を行う。	下水道整備率(%)	下水道整備面積÷下水道計画全体面積	57.9	58.8	59.6	60.2	60.8	計画額	3,658,527	3,347,795	2,758,533	2,240,028	2,196,958
			57.9	58.8	59.8	60.5	61.1	(一般財源)	0	0	0	0	0
	整備面積(%)		68	51	46	34	34	予算額	3,658,527	3,347,795	2,393,834	2,229,039	2,490,359
			68	48	56	42	33	(一般財源)	0	0	317,318	553,352	291,896
【対象】 ○下水道未整備地区の市民・事業者	()		0	0	0	0	0	決算額	2,925,296	2,951,209	2,366,825	2,038,354	2,379,040
			0	0	0	0	0	職員数	44.8	37.8	37.7	37.7	27.1
								【業務】					
								幹線準幹線整備業務		汚水幹線準幹線(附帯工事)事業(平			
								枝線等整備業務		汚水枝線事業(平成15年度分)			
								管渠整備関連業務		雨水幹線汚水幹線準幹線(附帯工事)			
								私道下水道敷設補助金		汚水枝線事業(平成16年度分)			
								受益者負担金管理業務		小山ポンプ場電気設備改築事業			
								下水道整備関係業務					
【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績													
【定量分析】: 課題・現状分析 公共下水道を整備することにより、地域衛生・生活環境等の向上及び江戸川・坂川等の水質汚濁防止に寄与した。								【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性 引き続き整備率を向上させる。					

【計画事業】

【計画事業名】 公共下水道推進事業(汚水)

【節項コード】 502 【節名】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

【項名】 都市基盤の整備

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	面整備68ha	面整備51ha	面整備46ha	面整備34ha	面整備34ha
実績	面整備68ha	面整備48ha	面整備56ha	面整備42ha	面整備33ha

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	15	きれいな水とふれあえるようにする	【施策】	1	川のごみを少なくする
【基本事務事業】	1501	汚水を直接流さない	担当課:	5036000	
【事務事業】	150109	流域下水道建設負担金	下水道整備課	会計区分	下水道事 計画区分 一般事業 502 戦略区分 -
【目的】	流域下水道事業の建設費を負担することにより、汚水を適正に処理する。	【指標】	【指標概要】	[H15] [H16] [H17] [H18] [H19]	【事業費】 [H15] [H16] [H17] [H18] [H19]
【対象】	千葉県	執行率(%)	支出額÷請求額	100 100 100 100 100	計画額 477,475 419,699 394,029 394,029 394,029
		()	()	100 100 100 100 100	(一般財源) 0 0 0 0 0
		()	()	0 0 0 0 0	予算額 477,475 419,699 394,029 422,477 483,900
		()	()	0 0 0 0 0	(一般財源) 0 0 0 0 0
		()	()	0 0 0 0 0	決算額 412,259 356,005 218,876 426,773 501,826
		()	()	0 0 0 0 0	職員数 0.1 0.1 0.1 0.1 0.1
		()	()	0 0 0 0 0	【業務】 江戸川左岸流域下水道建設費負担金
		()	()	0 0 0 0 0	手賀沼流域下水道建設費負担金
					【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績
					【定量分析】: 課題・現状分析
					建設費負担金の適正な算定及び執行であった。
					【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性
					引き続き建設費負担金の適正な算定及び執行を行う。

【政策】	15	きれいな水とふれあえるようにする	【施策】	1	川のごみを少なくする
【基本事務事業】	1501	汚水を直接流さない	担当課:	5036000	
【事務事業】	150110	下水道償還元金	下水道整備課	会計区分	下水道事 計画区分 一般事業 502 戦略区分 -
【目的】	借り入れた起債について適正に償還する。	【指標】	【指標概要】	[H15] [H16] [H17] [H18] [H19]	【事業費】 [H15] [H16] [H17] [H18] [H19]
【対象】	関東財務局・千葉県・公営企業 金融公庫・郵政省	執行率(%)	支出額÷償還額	100 100 100 100 100	計画額 2,930,023 3,217,272 3,405,248 3,479,062 3,625,430
		()	()	100 100 100 100 100	(一般財源) 0 0 0 0 0
		()	()	0 0 0 0 0	予算額 2,903,023 3,217,272 3,405,248 3,465,670 3,586,592
		()	()	0 0 0 0 0	(一般財源) 0 0 802,942 861,068 1,257,052
		()	()	0 0 0 0 0	決算額 2,930,022 3,217,271 3,577,596 3,619,999 5,567,359
		()	()	0 0 0 0 0	職員数 0 0 0 0 0
		()	()	0 0 0 0 0	【業務】
		()	()	0 0 0 0 0	
					【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績
					【定量分析】: 課題・現状分析
					償還表を的確に管理し適正な償還を実施した。
					【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性
					引き続き適正な執行を行う。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	15	きれいな水とふれあえるようにする	【施策】	1	川のごみを少なくする									
【基本事務事業】	1501	汚水を直接流さない	担当課:	5036000										
【事務事業】	150111	下水道償還利子	下水道整備課	会計区分	下水道事									
				計画区分	一般事業									
					502									
					戦略区分									
					-									
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
借り入れた起債について適正に償還する。	執行率(%)	支出額÷償還額	100	100	100	100	100	計画額	3,029,426	2,923,596	2,861,659	2,724,953	2,616,809	
			100	100	100	100	100	(一般財源)	0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	0	予算額	3,029,426	2,923,596	2,816,907	2,680,080	2,559,957
()			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	812,672	822,050	1,072,568	
			0	0	0	0	0	0	決算額	2,913,728	2,853,134	2,750,912	2,643,057	2,530,483
			0	0	0	0	0	0	職員数	0	0	0	0	0
()			0	0	0	0	0	【業務】						
			0	0	0	0	0	0						
【対象】	関東財務局・千葉県・公営企業 金融公庫・郵政省		【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績											
	【定量分析】: 課題・現状分析 償還表を適正に管理し適正な償還を実施した。						【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性 引き続き適正な執行を行う。							

【政策】	15	きれいな水とふれあえるようにする	【施策】	1	川のごみを少なくする									
【基本事務事業】	1501	汚水を直接流さない	担当課:	5036000										
【事務事業】	150112	予備費	下水道整備課	会計区分	下水道事									
				計画区分	一般事業									
					502									
					戦略区分									
					-									
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
特別会計として想定し得ない緊急時への対応として、予備費を設定する。	充用執行率(%)	充用額÷予備費	0	0	0	0	0	計画額	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	
			0	0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	0	予算額	10,000	10,000	10,000	10,000
()			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	10,000	10,000	10,000	
			0	0	0	0	0	0	決算額	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	0	職員数	0	0	0	0	0
()			0	0	0	0	0	【業務】						
			0	0	0	0	0	0						
【対象】	下水道事業特別会計		【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績											
	【定量分析】: 課題・現状分析						【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性							

【政策】	15 きれいな水とふれあえるようにする	【節】	安全で快適な生活環境の実現
【施策】	2 川の水量を増やす	【項】	人と自然が共生するまちづくり
【基本事務事業】	1502 きれいな水を増やす	【基本計画区分】	402【担当課】 5034100 河川清流課・清流ルネッサ

【目的】 流量(坂川、国分川水系)について、実績値 0.49?/s(坂川弁天橋H13) 0.67?/s(秋山弁天橋H13)を目標値 0.49?/s(坂川弁天橋H13) 0.67?/s(秋山弁天橋H13)にする。	【背景】 社会経済の発展により、市民はより豊かな生活を享受できるようになったが、反面、人口増に伴う市街化の拡大等都市化の進展により、自然環境は減少し、特に市内河川は、水量の減少と共に汚濁が進行した。このため、河川に対する汚濁負荷を少なくし、生態系に配慮した、水辺にふれあえる河川環境を取り戻すことが求められている。	コード 150201 河川環境用水確保事業 150202 雨水浸透推進事業	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 事業拡大 他水域からの導水や新規水源の創出等により、水量を増やす。今後も地下水の涵養と水の有効利用等を目的とした雨水浸透の推進や、水資源のリサイクルに取り組み、川の水量増加に向けた取り組みを行っていく。
--	--	---	--

【今後の課題】
水循環機能や河川の自浄能力を回復させることや、生きものと共生する視点を持った整備、特に水と緑の一体的な整備やネットワーク化による生態系に配慮した空間の確保が課題となっている。

【重要性】
河川には治水・利水機能だけでなく多様な自然環境や水辺空間を活かした潤いのある生活と、地域の文化を育む場としての役割が求められており、水質改善の面からも水量の確保が重要となっている。そのためには、水資源のリサイクルに取り組み、地下水の涵養と水の有効利用等を目的に、雨水浸透の推進を啓発することが重要である。

【現状分析】
適正な指導により、浸透施設の設置が促進されている。河川環境用水確保については、関係機関との協議・調整を進めたことで、その可能性が高くなっている。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
浸透量			10300	10980	11650	12330	13000
(m3)			10170	10186	13900	10660	9246
				0	0	0	0
()				0	0	0	0

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	15	きれいな水とふれあえるようにする	【施策】	2	川の水量を増やす
【基本事務事業】	1502	きれいな水を増やす	担当課:	5034100	
【事務事業】	150201	河川環境用水確保事業	河川清流課・清流ルネッサン	会計区分	一般会計
				計画区分	計画事業
					402
					戦略区分
					—

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
市民・関係機関の水環境改善への理解を促進し、健全な河川環境を確保する。	導水確保率(%)	導水量/計画導水量(計画した導水量に対する確保した割合)	97.4	97.4	97.4	97.4	100	計画額	0	0	0	0	3,000
			97.4	97.4	97.4	97.4	97.4	(一般財源)	0	0	0	0	3,000
			0	0	0	0	0	予算額	0	0	0	0	0
市民(通勤、通学者を含む)	()		0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	決算額	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	職員数	1.85	1.85	1.85	0.65	0.65
	()		0	0	0	0	【業務】	導水計画業務 導水施設整備業務 導水施設管理業務					
			0	0	0	0		単位) 事業費: 千円 職員数: 人					

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

事業実施に向けての計画関係機関との調整。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

関係機関と調整し、事業を進める。

【計画事業】

【計画事業名】 河川用水の導水事業

【節項コード】

402

【節名】 安全で快適な生活環境の実現

【項名】 人と自然が共生するまちづくり

	H15	H16	H17	H18	H19
計画					導水施設整備
実績					事業計画・調整

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	15	きれいな水とふれあえるようにする	【施策】	2	川の水量を増やす
【基本事務事業】	1502	きれいな水を増やす	担当課:	5034100	
【事務事業】	150202	雨水浸透推進事業	河川清流課・清流ルネッサン	会計区分	一般会計
				計画区分	計画事業
					402 戦略区分

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
健全な水循環を確保し、水害の軽減を図る。	浸透達成率(%)	浸透実績量/目標浸透量	90	91	92	93	94	計画額	750	500	500	500	500
			90	100	100	100	100	(一般財源)	750	500	500	500	500
	()		0	0	0	0	0	予算額	750	500	500	500	600
			0	0	0	0	0	(一般財源)	750	500	500	500	600
	()		0	0	0	0	0	決算額	725	483	473	483	578
			0	0	0	0	0	職員数	1.25	1.25	1.25	0.95	0.95
							【業務】	雨水浸透設置指導業務 雨水浸透施設設置業務					

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

雨水貯留浸透施設の学校等への設置浸透施設の設置指導

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

建築行為に対する浸透施設の設置推進公共施設へ施設を整備し、理解と周知を続ける

【計画事業】

【計画事業名】 雨水利用・浸透の促進事業

【節項コード】 402 【節名】 安全で快適な生活環境の実現

【項名】 人と自然が共生するまちづくり

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	浸透施設整備	浸透施設整備	浸透施設整備	浸透施設整備	浸透施設整備
実績	浸透施設整備	浸透施設整備	浸透施設整備	浸透施設整備	浸透施設整備